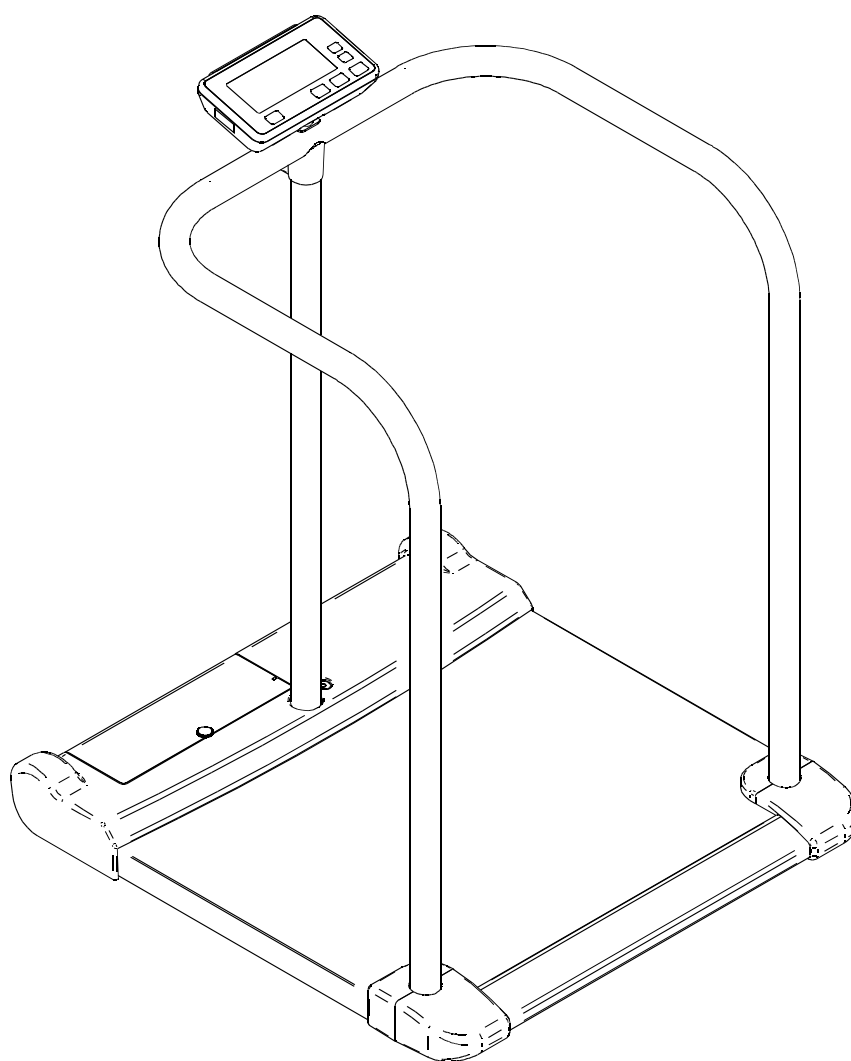


AD-6107R

バリアフリースケール（手すり付）（3級）

取扱説明書



AND
A&D Medical

1WMPD4003478C

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2019 株式会社 エー・アンド・デイ




株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------



この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。





使用上（安全及び危険防止）の注意事項

バリアフリースケール（AD-6107R）を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を十分に理解した上で取り扱ってください。



なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。




1. 機器の設置および保管は、次の点に注意して下さい。

 危険	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。




 注意	
	<p><input type="checkbox"/> 下記の使用環境、保管環境でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および被験者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度+5℃～+35℃、湿度 85%RH 以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度-10℃～+60℃の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	<p><input type="checkbox"/> 製品の設置・移動時は、下記に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 移動時は、手すりを持って設置・移動してください。 ■ 屋外や平坦でない床面ではキャスターを使用して移動しないでください。故障の原因になります。 移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャスターを使用してください。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因となります。 ■ 本器を移動する時は、ACアダプタやケーブル類を本体より取り外してから移動してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本器は重量物のため、設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に、次の点を確認して下さい。




 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 電源電圧は必ず交流 100V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器が安全かつ正確に動作すること。■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「13. 地域別重力加速度一覧」からご確認ください。■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。■ 電源コードや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本器の下敷きにしたりしないこと。 火災・感電の原因になります。■ AC アダプタ本体、プラグ部が破損または、電源コードが破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。■ 電池を交換する際は、すべて新しい電池に交換し、新旧の電池を混在させないでください。 故障の原因になります。■ 電池は+・-の極性に注意し、正しく設置してください。■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。



3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲壁などとの接触を避けること。 測定に影響します。■ 測定時は静かに計量台に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。 故障の原因になります。■ 手すりに寄りかかったり、ぶら下がったりしないこと。 転倒の恐れがあります。■ 計量台に飛び乗ったり、乱暴に取り扱わないこと。 けがや故障の原因になります。




4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。■ 長期間誤使用にならない場合は電池を抜いておいてください。



5. 機器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。■ 機器の動作を止め、ACアダプタをコンセントから抜くこと。■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。



6. 保守点検については次の点に注意してください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意して下さい。





 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器は、JIS C 61000-4-3(電磁両立性)に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用時、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。<ul style="list-style-type: none">□ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。□ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合<ul style="list-style-type: none">□ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。□ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。□ 他の電源コンセントから電源を取る。■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）<ul style="list-style-type: none">□ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。□ 部屋を加湿する。■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。<ul style="list-style-type: none">□ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。 可燃性として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。
測定結果の自己判断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 電源ケーブルでつまづかないよう、設置場所に注意してください。■ 本器には角や段差があります。転倒してぶつけてけがをしないよう注意してください。■ 計量台に乗るときは、手すりをもち計量台の中央に静かに乗ってください。 転倒し、けがをする恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 手すりの上に登ったり、ぶら下がったりしないでください。 けがや転倒の恐れがあります。■ 計量台の端に乗らないでください。 転倒する恐れがあります。■ 計量台に飛び乗らないでください。 けがや転倒する恐れがあります。■ 手すりに強く寄りかかることや、強く引っ張らないでください。 転倒する恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ カバーや表示機に手や髪の毛をはさまないように注意してください。■ 移動時に、計量台を落下させないように注意してください。■ 移動時に、計量台やキャスタに足をはさまないように注意してください。

お知らせ	
<ul style="list-style-type: none">■ 計量台の中央部にお乗りください。■ 測定中に体が動かさないよう手すりを持って測定してください。体動は測定誤差の原因になります。■ 体動（揺らぎ）の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。	

開梱

⚠️ 注意



- 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

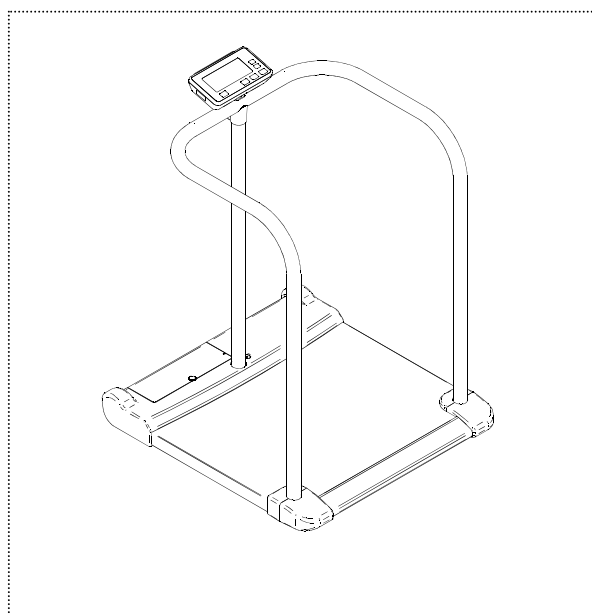
- 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。万一、損傷があったり内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

オプション品は「12. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

□ 本体	1 セット
	・ 計量台 1 台
	・ 表示器 1 個
□ 付属品	取扱説明書(本書) 1 冊
	専用 AC アダプタ 1 個
	(AC100V 50-60Hz)	
	AC アダプタ識別シール 1 個
	保証書 1 個

本体



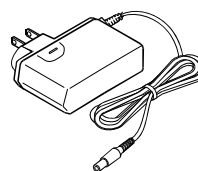
付属品



取扱説明書 (本書)



保証書



専用ACアダプタ



ACアダプタ識別シール

※ACアダプタのイラストは仕様により変更する可能性があります。

[Blank page]

目次

1.	はじめに.....	3
2.	特長.....	4
3.	検定付き計量器.....	5
4.	用語の解説.....	6
5.	仕様.....	7
5.1.	構成.....	7
5.2.	本体仕様.....	7
5.3.	外形寸法.....	8
6.	各部の名称と機能.....	9
6.1.	各部の名称.....	9
6.2.	スイッチ機能.....	10
6.3.	表示部の説明.....	11
7.	ご使用の準備.....	12
7.1.	設置.....	12
7.2.	電源の準備.....	13
7.2.1.	ACアダプタを使用する場合.....	13
7.2.2.	乾電池を使用する場合.....	14
7.3.	始業前点検.....	15
7.3.1.	電源投入前.....	15
7.3.2.	電源投入後.....	15
7.3.3.	時計設定.....	16
7.4.	プリンタの準備.....	17
8.	移動方法.....	19
9.	操作方法.....	20
9.1.	測定.....	20
9.2.	衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）.....	22
9.2.1.	衣服の重さとして1.0kg引くとき.....	22
9.2.2.	衣服の重さを変更するとき.....	23
9.3.	風袋引き測定.....	24
9.4.	BMIを計算する.....	26
9.4.1.	体重を先に測定する.....	26
9.4.2.	身長値を先に入力する.....	28
9.5.	ファンクション設定.....	30
9.5.1.	ファンクション設定方法.....	30
9.5.2.	ファンクション一覧.....	31
10.	通信機能（RS-232Cインターフェース）.....	33
10.1.	標準RS-232Cインターフェース.....	33
10.2.	データフォーマット.....	35
10.2.1.	出力データフォーマット.....	35

10.2.2.	入力データフォーマット.....	38
10.2.3.	2 又通信ケーブル AX-KO6653 の接続.....	40
11.	保守.....	41
11.1.	保守点検と安全管理.....	41
11.2.	清掃.....	41
11.3.	定期点検.....	42
11.3.1.	電源投入前.....	42
11.3.2.	電源投入後.....	42
11.4.	廃棄.....	43
11.5.	修理を依頼される前に.....	44
12.	アクセサリ・オプションユニット.....	45
13.	重力加速度の大きさの範囲.....	46
14.	アフターサービス・保証.....	47
14.1.	保証期間.....	47
14.2.	免責事項.....	47
14.3.	製品に関するご質問・ご相談窓口.....	47

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのバリアフリースケール AD-6107R をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6107R の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。

本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

AD-6107R は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向けの手すり付き業務用体重計です。以下の特長があります。

- バリアフリーな体重計です。
- キャスタにより運びやすくなっています。
- 簡単な操作で体重の測定ができます。
- 拡張端子による通信出力機能 (RS-232C 準拠) があります。
- BMI の計算ができます。

3. 検定付き計量器

AD-6107R は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。

検定付き計量器を使用するための事項が計量台の銘板に記載されています。以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

■ 使用地域の制限

検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、計量台の銘板に記載されています。

※使用地域については、「13. 重力加速度の大きさの範囲」を参照してください。

■ ひょう量と最小測定量、目量

「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」、「目量」は、計量台の銘板および表示部に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

■ 使用温度範囲

「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、計量台の銘板に記載されています。

■ 定期検査

本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第11条により2年ごとに定期検査が義務付けられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。

定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。

※表示固定の解除については、「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。

性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。

※定期点検については、「11.3. 定期点検」を参照してください。

■ 校正

検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4. 用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。本機のひょう量は 200 kg です。
目量	はかりの1つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。本機は質量に応じて以下になります。 100 g(150 kg 未満)、200 g(150 kg 以上) です。
風袋引き	風袋の質量を差し引いて正味量を測ることを表します。 風袋の質量（風袋量）とは、計量時に使用する着衣などの質量のことです。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「衣服引」「PT」として表現しています。
総量	風袋量又はプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

5. 仕様

5.1. 構成

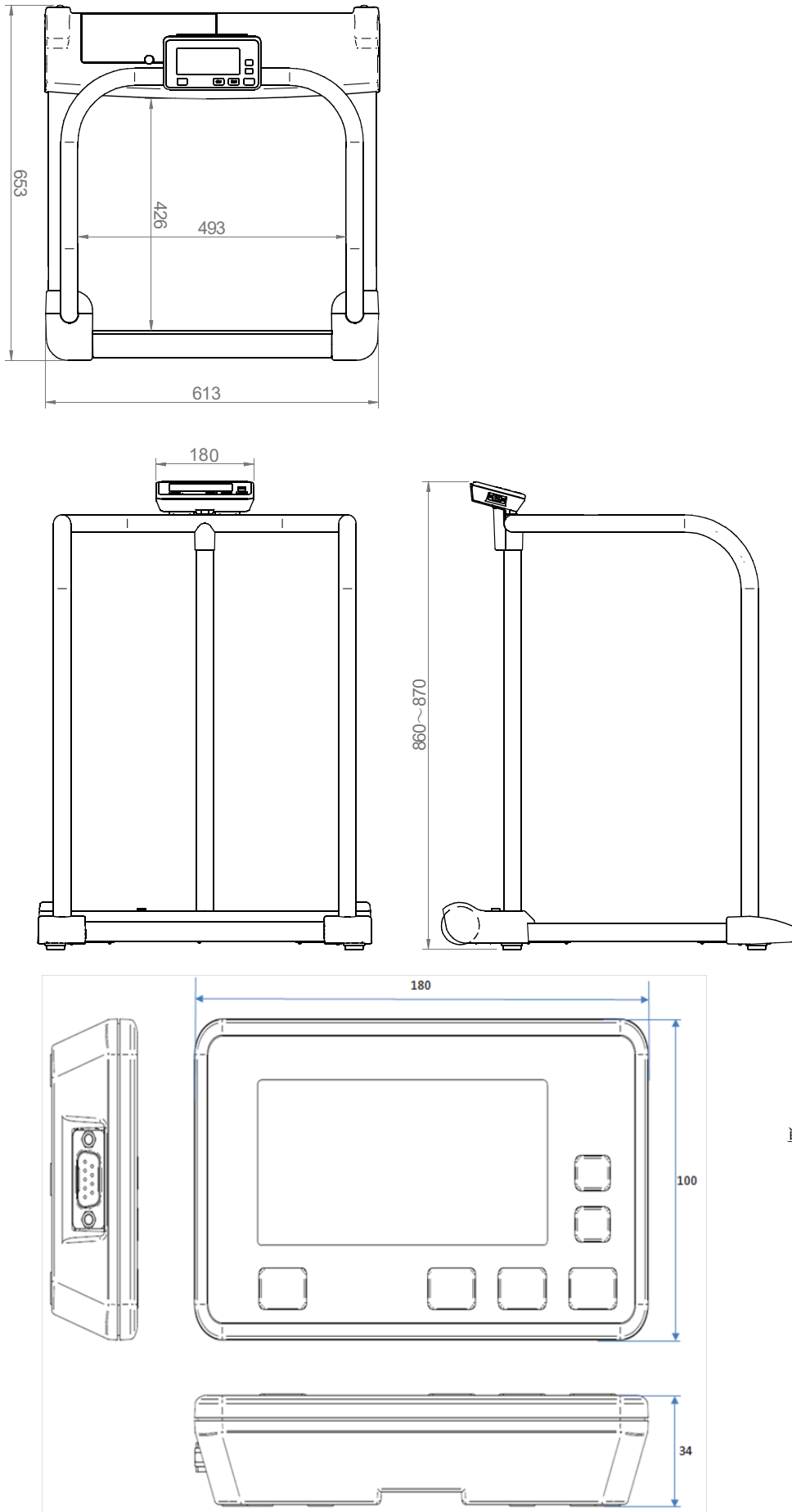
搭載機能	型名
	AD-6107R
デジタルLCD表示	○
体重測定	○
風袋引き測定	○
プリセット風袋引き測定	○
手すり	○
印字機能	オプション

5.2. 本体仕様

項目	仕様
型名	AD-6107R
販売名	バリアフリースケール（手すり付き）
精度等級	3級
ひょう量	200 kg
目量	100 g（150 kg未満）／200 g（150 kg以上）
最小測定量	2 kg
最大減算風袋量	90 kg以下
使用温湿度範囲	温度：+5℃～+35℃、湿度：85%RH以下
保存温度範囲	温度：-10℃～+60℃
表示	7セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 23[mm]
電源	単1形アルカリ乾電池：4本または、ACアダプタ
乾電池寿命	連続動作（アルカリ乾電池使用時）200時間以上
外形寸法	613(W) x 653(D) x 870(H) [mm]
計量台スペース	493(W) x 426(D) x 48(H) [mm]
本体質量	約17 kg（ACアダプタ、乾電池含まず）
耐用期間	設置後5年 弊社データによる自己認証。 （正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。 使用状況により差異が生じることがあります。）

※ 乾電池の寿命は、周囲の環境や温度により異なります。

5.3. 外形寸法

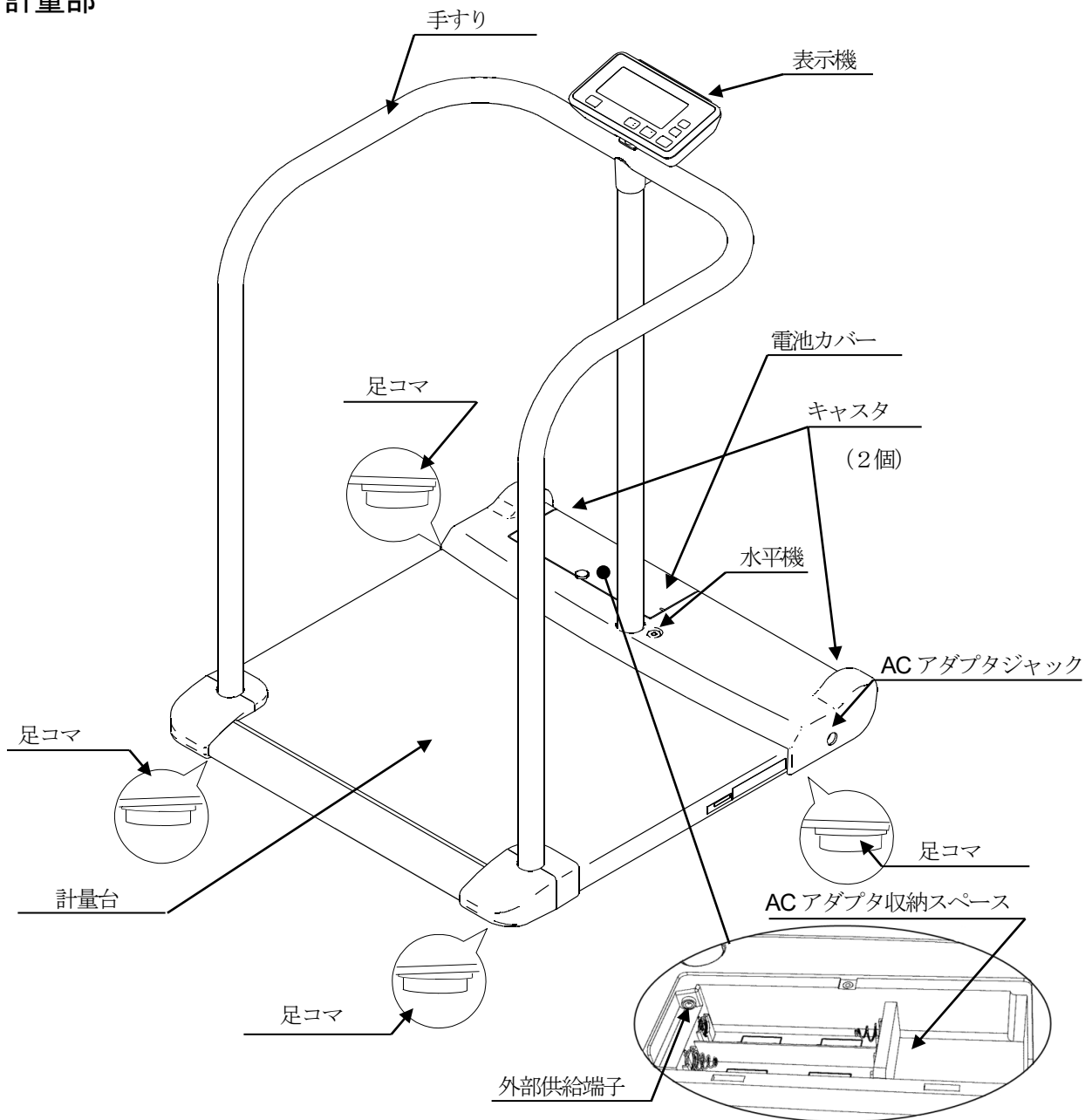


単位 : mm

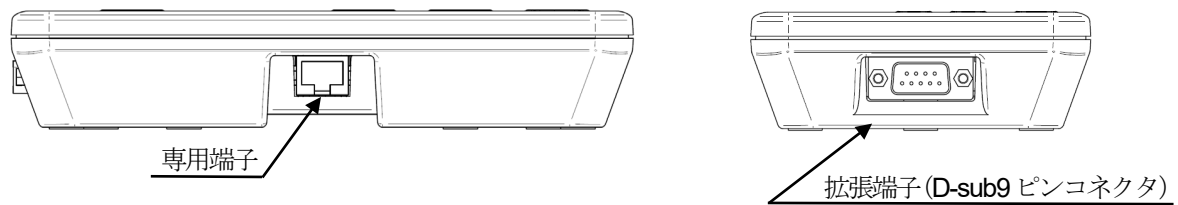
6. 各部の名称と機能

6.1. 各部の名称

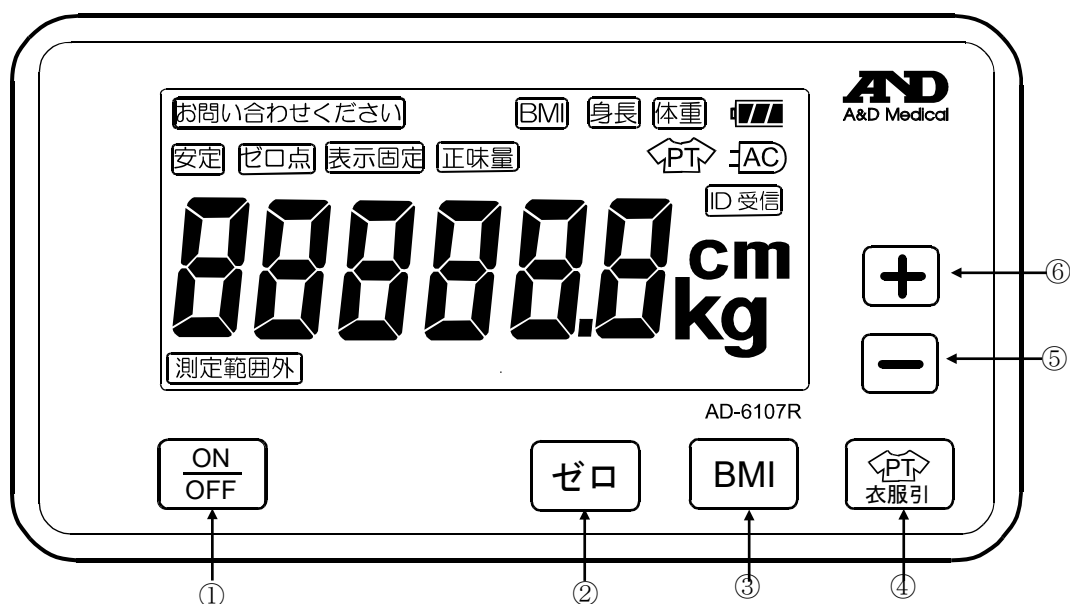
計量部



表示器



6.2. スイッチ機能

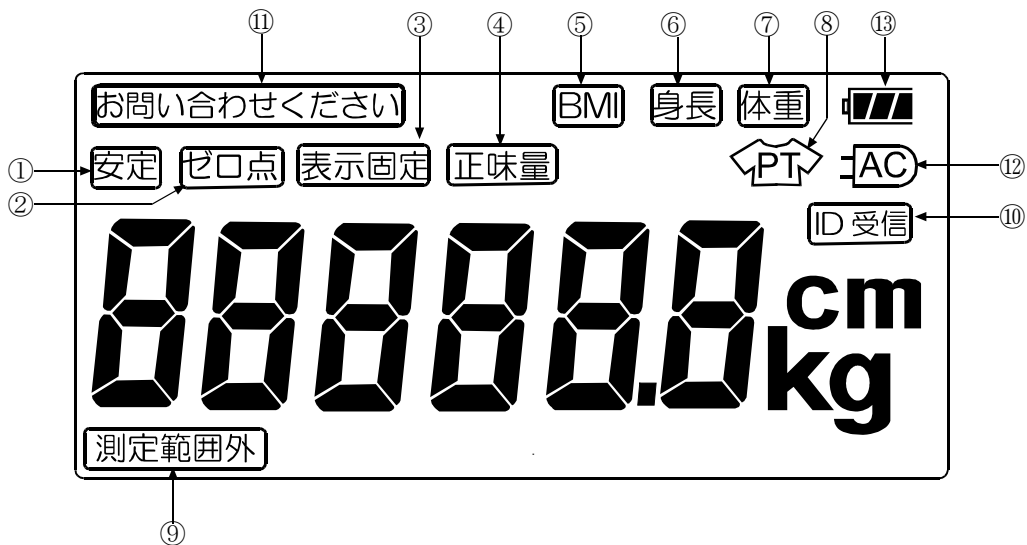









番号	名称	機能
①	ON/OFF	電源のオン・オフを行います。電源オンで測定状態になります。(※1)
②	ゼロ	表示を 0.0kg にするとき押します。
③	BMI	BMI を計算し表示します。
④	衣服引	事前に衣服の重さを差し引くときに押します。初期値 1.0kg。 (プリセット風袋引き)
⑤	-	値を減少させます。
⑥	+	値を増加させます。

※1 本器はオートパワーオフ機能がついています。この機能は電源 ON 後、約 5 分間スイッチ操作がなく計量台に何も載っていない状態が続くと自動的に電源が OFF になります。
このオートパワーオフ機能の設定は、ファンクションにて動作設定することができます。詳しくは「9.5.ファンクション設定」を参照してください。
(AC アダプタで動作しているときは、自動的に電源 OFF しません。)

6.3. 表示部の説明

画面





番号	名称	説明
①	安定	体重が安定すると点灯します。
②	ゼロ点	体重値が0.0kgのとき点灯します。
③	表示固定	安定した体重値を一定時間表示しつづけると点灯します。
④	正味量	風袋引き測定、衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間、点灯します。
⑤	BMI	BMIを計算・表示している時に点滅・点灯します。
⑥	身長	身長を入力しているときに点滅し、決定すると点灯します。
⑦	体重	BMI測定で体重値を表示しているときに点灯します。
⑧		衣服引き（プリセット風袋）測定をしている間、「正味量」マークと共に点灯します。
⑨	測定範囲外	計量値が201.6kgを超えたときと、-1.9kg未満のときに点灯します。
⑩	ID受信	拡張端子から被測定者IDが入力されたとき点灯します。
⑪	お問い合わせください	製品の異常（故障）を検知した時点灯します。
⑫		ACアダプタで動作しているとき点灯します。
⑬		乾電池の残量に応じて点灯します。乾電池交換の目安にしてください。  乾電池は十分にあります。  少し少なくなりました。  残りわずかです。早めに交換してください。  直ちに交換が必要です。

7. ご使用の準備

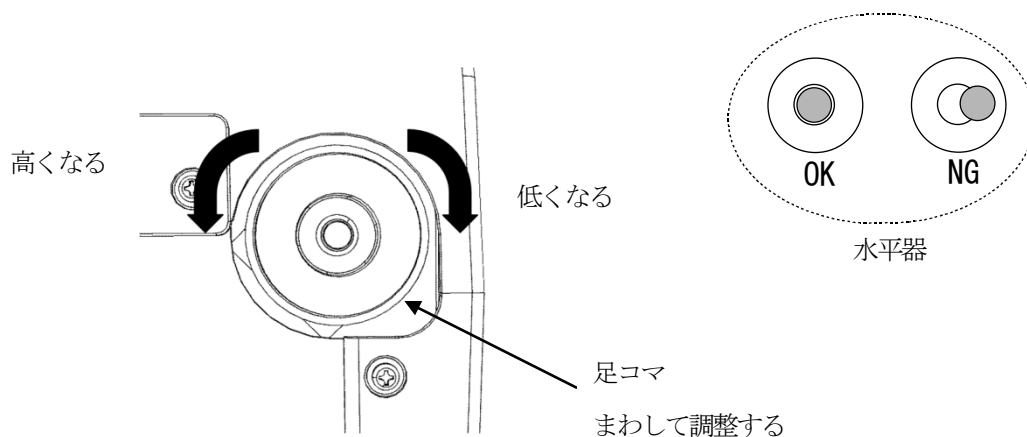
7.1. 設置

⚠注意


	<ul style="list-style-type: none">■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃の無い水平で安定した場所に設置してください。製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。■ 本器は、ひょう量（200kg）と本器質量に十分耐え得る場所に設置してください。■ 本器に腰かけないでください。破損する恐れがあります。■ 計量台の下に物が入り込んだ状態や、周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動する時に手や足をはさまないようにご注意ください。■ 本器は稼働する部分があります。設置、移動時に手をはさまないようにご注意ください。

手順：

1. 梱包箱から本器を取り出します。
移動する場合は、「8. 移動方法」の手順に従ってください。
2. 水平器の円（赤色）の中に気泡がくるように、計量台の四隅の足コマを回して高さを調整します。計量台の足コマ以外の部分が床や壁等と接触しないように注意してください。



⚠注意

	<ul style="list-style-type: none">■ 手すりを強く引っ張らないでください。■ 手すりに寄りかからないでください。■ 手すりに乗らないでください。
---	---

7.2. 電源の準備

7.2.1. ACアダプタを使用する場合

⚠ 警告



- 電源電圧は交流 100V でご使用ください。

⚠ 注意



- AC電源をご使用の場合は付属のACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタは、必ず弊社製品指定の専用アダプタ品をご使用ください。弊社指定外の物を使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。

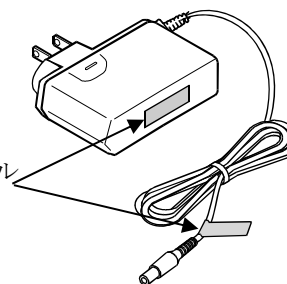
お知らせ

- ACアダプタの誤使用防止のため、付属のACアダプタ識別シールを貼り付けてご使用ください。

手順：

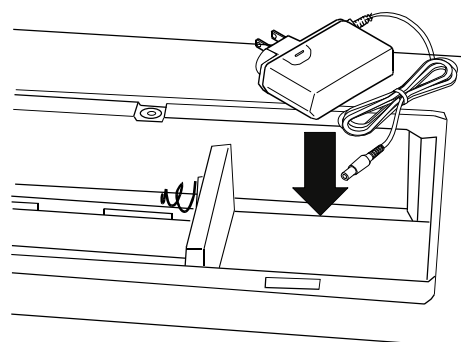
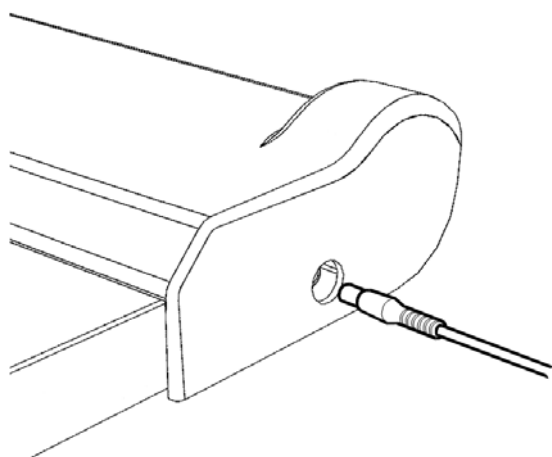
1. 付属のACアダプタ識別シールを台紙より剥がして、ACアダプタ本体およびコード部分に貼り付けてご使用ください。
(識別シールには、使用可能な当社製品の型名が記載されています。)

ACアダプタ識別シール
貼付位置



※AC アダプタのイラストは仕様により変更する可能性があります。

2. ACアダプタのケーブルを計量台のACアダプタジャックに差し込んでください。



ACアダプタ収納場所

3. ACアダプタをコンセントに差し込んでください。

7.2.2. 乾電池を使用する場合

⚠ 注意

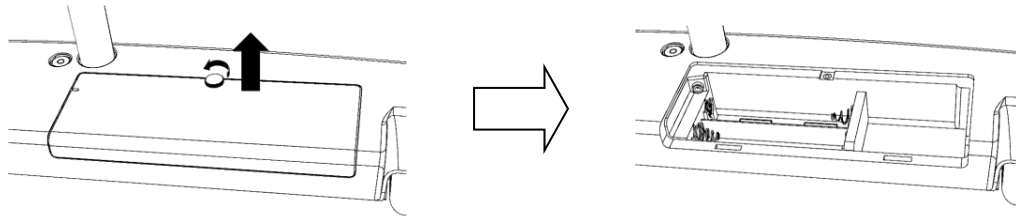


- 乾電池の+-の方向を間違えないように入れてください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しない場合、あるいは専用ACアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。
乾電池を入れたまま放置すると、液漏れが起こり故障の原因となります。
乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。
- 乾電池の液が体についたら、すぐにその部位を水でよく洗い流してください。

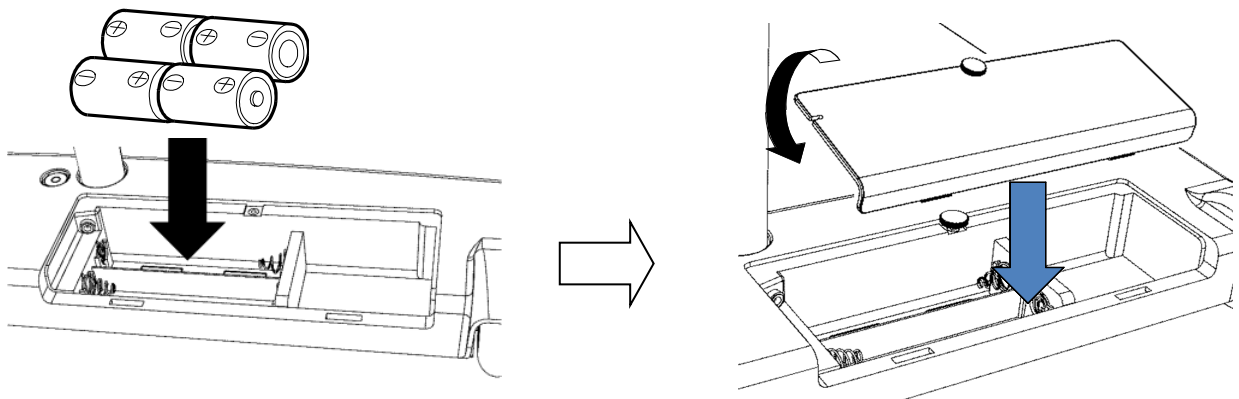
※乾電池は付属しておりません。ご使用の場合は別途ご購入ください。

手順：

1. 計量台の電池カバーのツマミをゆるめて、カバーを外します。



2. カバーを外すと電池ボックスがあります。+-の方向に注意して、同種の新しい単1形乾電池を4個入れます。
3. カバーを取り付けて、固定します。



乾電池の交換時期について

乾電池の残量に応じて図のように乾電池マークが変わります。

- | | |
|--|----------------------------|
| | 乾電池は十分にあります。 |
| | 少し少なくなりました。 |
| | 残りわずかです。早めに交換してください。 |
| | 直ちに交換が必要です。 |

図のように、乾電池マークのケースだけの点灯になった場合、本器は動作できません。直ちに乾電池を交換してください。



お知らせ

- が点灯したら、同種の新しい単1形乾電池4個に交換してください。

7.3. 始業前点検

⚠ 注意



- 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。

7.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い、問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ 変形や破損はないか■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか■ パネル類に割れやガタつき等はないか■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台、手すりのガタつき、固定異常はないか■ 足コマは4箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）

7.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い、問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ けむりが出たり、変なにおいはないか■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	<ul style="list-style-type: none">■ 実測し、体重値及び測定動作に異常はないか
データ処理 (他 PC 等への接続の場合)	<ul style="list-style-type: none">■ 正常に通信可能か■ データに異常はないか
スイッチ・ボタン	<ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	<ul style="list-style-type: none">■ 文字欠け等表示異常はないか

上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

7.3.3. 時計設定

日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され、印字などがされます。
もし時刻がずれている場合は、下記の方法で日付・時刻を設定してください。

設定手順：

1. 測定 OFF の状態にします。

2. BMIスイッチを押した状態で、ON/OFFスイッチを押します。

3. 画面に“年” が点滅表示します。増、減スイッチで西暦を合せてください。

4. ゼロスイッチを押すと、“年” が設定され、画面に月日が点灯し、“月” が点滅表示します。

5. 増、減スイッチで月を合わせてください。

6. ゼロスイッチを押すと“月” が設定され、“日” が点滅表示します。

7. 増、減スイッチで“日” を合わせてください。

8. ゼロスイッチを押すと、“日” が設定され、画面に時分が点灯し、“時” が24時間表記で点滅表示します。

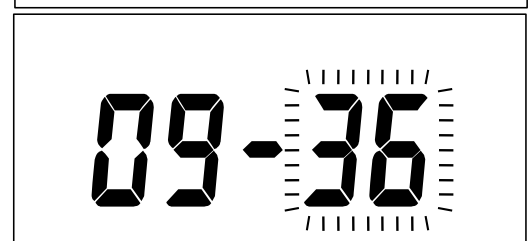
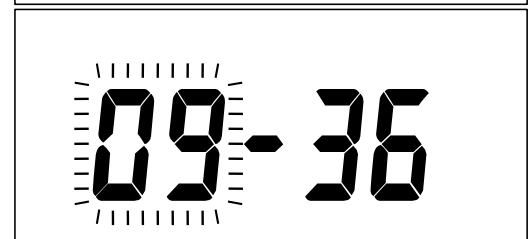
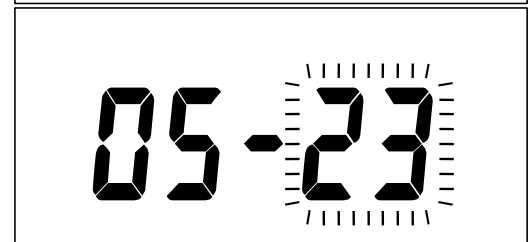
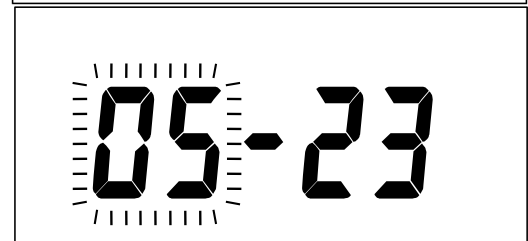
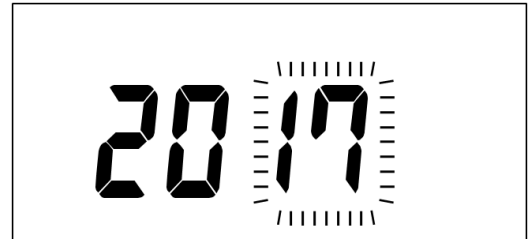
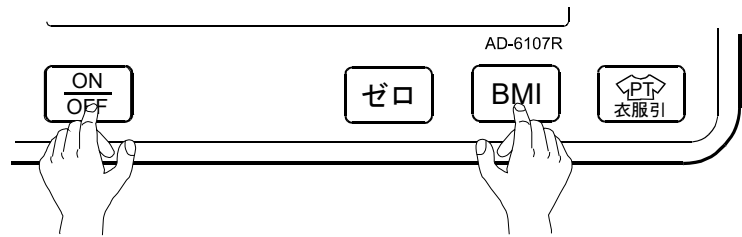
9. 増、減スイッチで時を合わせてください。

10. ゼロスイッチを押すと“時” が設定され、“分” が点滅表示します。

11. 増、減スイッチで分を合わせてください。

12. ゼロスイッチを押すと“分” が設定され、「End」表示後、設定は完了します。

13. このとき、時計は00秒よりスタートします。



お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、2017～2099年です。
- 本器の時計は、24時間制です。(閏年対応)
- 時計設定中にON/OFFスイッチを押すなどして時計設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ(年～分)は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。

7.4. プリンタの準備

プリンタを使用することで体重、風袋、ID、時刻、身長、BMIを印字できます。

プリンタ : AD-PR580

- プリンタ本体
- ACアダプタ
- ACコード

プリンタオプション : AD-PR580-007

- 板金
- ネジ2種類 (それぞれ2個)
- D-sub ケーブル AX-KO3937
- 電源中継ケーブル

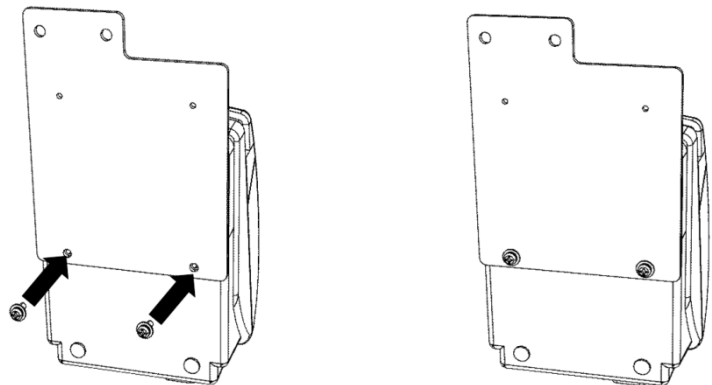
⚠ 注意



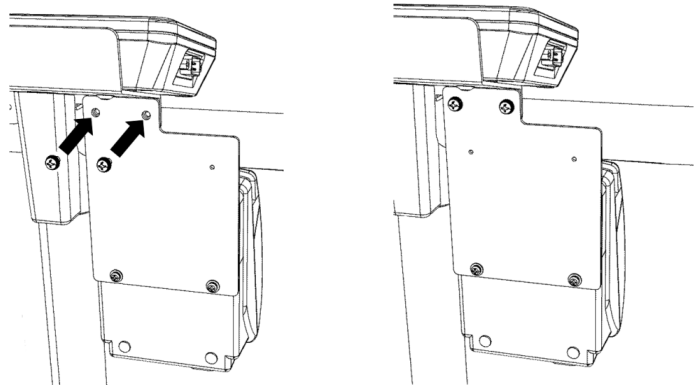
- プリンタ動作時は本体の電源にはAS-BLS-120Wを使用してください。
- 電池や付属ACアダプタではプリンタは動作しません。

取付手順

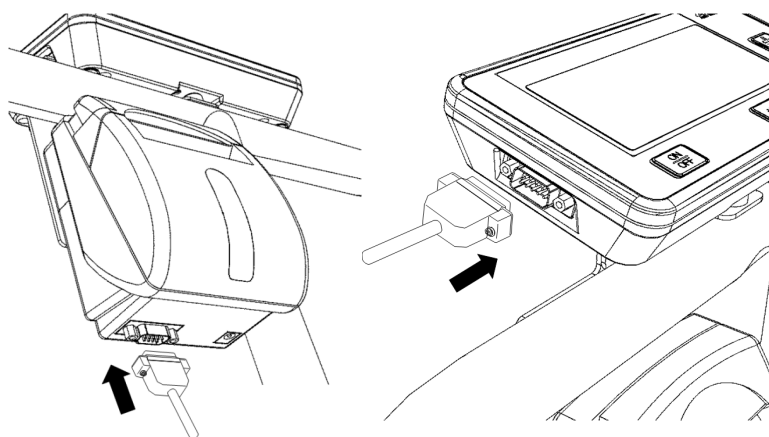
1. プリンタ本体に板金を取り付けます。



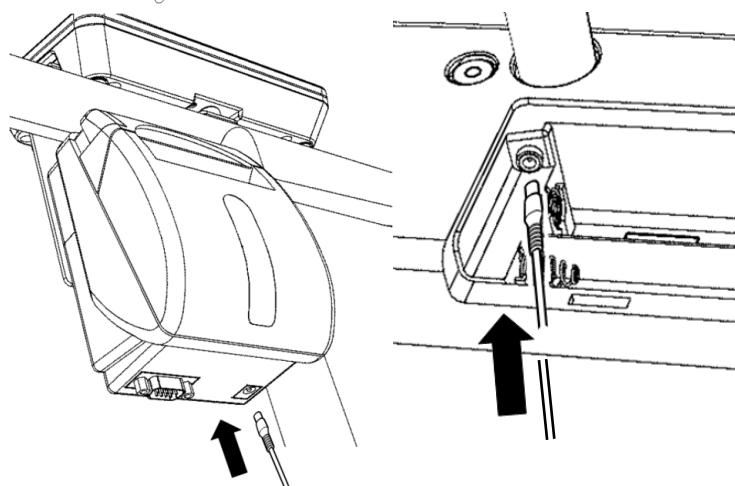
2. 表示機の下に取り付けます。



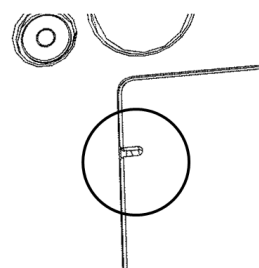
3. オプションの D-sub ケーブルを表示機とプリンタに接続します。



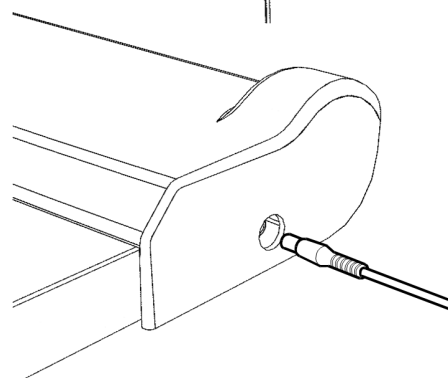
4. 電池カバーをあけて、オプションの電源接続ケーブルを接続します。このときプラグの小さいほうを本器に接続します。
※電源ジャックは奥まで入れてください。



5. 電池カバーを戻します。このとき○で囲んだ部分をケーブルが通るようにします。



6. ACアダプタ (AX-BLS-120W) を接続してください。






プリンタ接続時のファンクション設定

項目	設定値	設定内容	
F05	3	出力タイミング	オート出力 D
F06	1	通信フォーマット	標準プリンタフォーマット
F08	0	ボーレート	2400bps
F09	0	パリティ	偶数 (EVEN)
F10	0	終端	CRLF
F11	0	データ長	7bit

※初期設定のまま (工場出荷時設定のまま) でプリンタ接続できます。

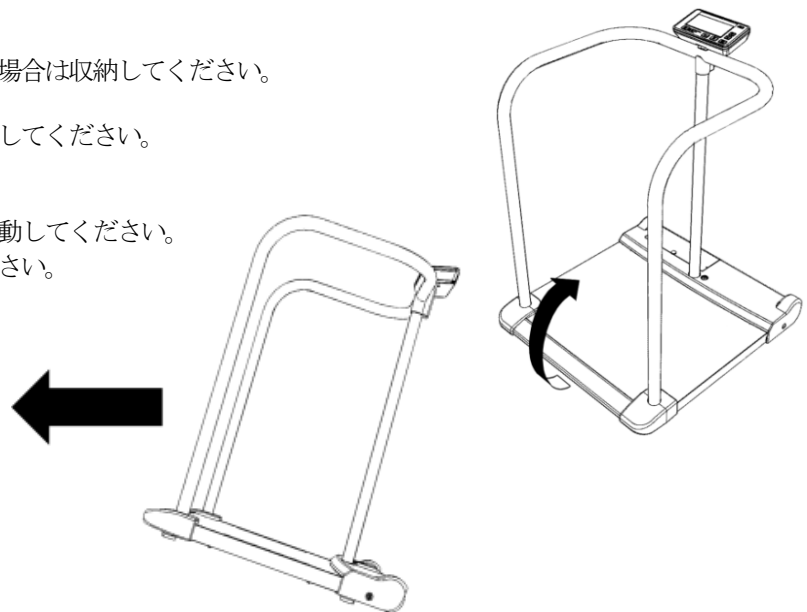
8. 移動方法

⚠️ 注意


	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本器のまわりに人や物がいないことを確認してください。 ■ 本器には小さな隙間があります。指などはさみ、けがをしないようご注意ください。 ■ 移動時にケーブル類をキャストで挟まないように注意してください。 ■ 本器を激しく移動させないでください。計量台の転倒等でけがをする原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動時は本器から手を放さないでください。バランスを崩し、けがをする原因になります。 ■ 人や物をのせて移動しないでください。 ■ ACアダプタをジャックに挿したまま、移動しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

1. ACアダプタ等の付属品を使用している場合は収納してください。
2. 手すりを両手で持って計量台を引き起こしてください。
3. 移動時は手すりを両手でもって静かに移動してください。
足元や周りに十分注意して移動してください。



⚠️ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計量台が振動しないように、ゆっくり移動してください。 ■ 移動時は壁や物等にぶつけないように注意してください。 ■ 移動時は段差などでの衝撃、衝突を避けてください。故障の原因になります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因になります。
---	---

4. 設置場所に着いたら手すりを両手で持って静かに倒してください。
設置方法は7.1を参照ください。

9. 操作方法

⚠️ 注意

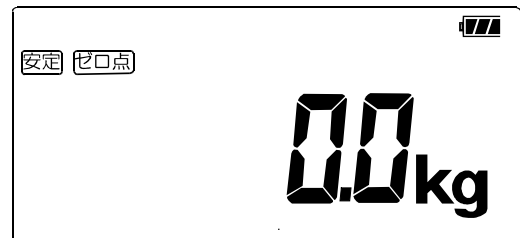
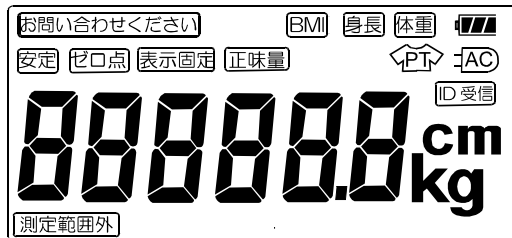


- 本器には角や段差があります。計量台の端に乗ることや、つまずきや、けがをしないようにご注意ください。

9.1. 測定

手順：

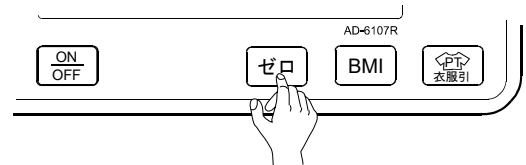
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2 電源の準備」参照。
2. **ON/OFF**スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。



“0.0kg”表示になっていない場合は、**ゼロ**スイッチを押してください。

“-----”が点滅後、安定したら“0.0kg”になります。

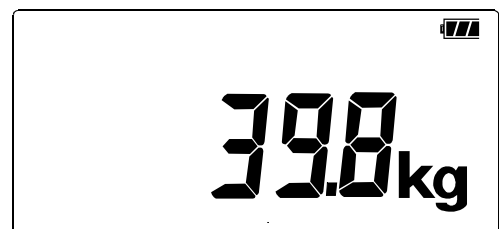
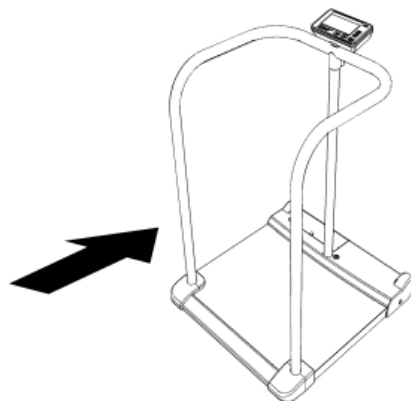
計量台にもものが載った状態で電源を入れると、全点灯表示後“-----”表示になります。ものを降ろしてください。



お知らせ

- 乾電池で動作しているとき、何のスイッチ操作もなく計量台に何も載っていない状態が約 5 分間続くと自動的に電源が OFF になります。(ACアダプタで動作しているときは自動的に電源が OFF になりません。)
「9.5. ファンクション設定」参照。

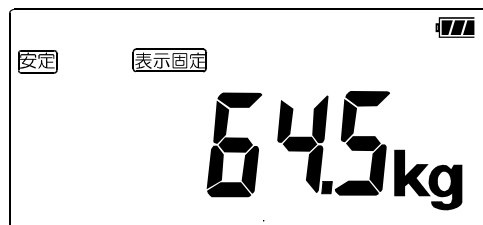
4. 計量台に静かに乗ります。



⚠ 注意

!	<ul style="list-style-type: none">■ 乗るときに手すりを引っ張らないでください。転倒の恐れがあります。■ 測定を開始したら被測定者以外は体重計に触れないでください。測定誤差の原因になります。■ 測定中は体を動かさないでください。測定誤差の原因となります。
⚠	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台に乗るときには、本器との間に手や足を挟まないようにご注意ください。

5. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。



お知らせ

- 表示固定は、体重計が一度安定すると、±3kgの変動があるまで表示し続ける機能です。体重値が5kg以上の場合に適用されます。
- 体重値に±3kgの変動があると表示固定は解除されます。(設定により7秒経過すると解除することもできます。)
- 体重値が201.6kgを超えると表示範囲外になり、「E」を表示します。

6. 測定が終了したら計量台から静かに降ります。測定しないときは **ON/OFF** スイッチを押して電源 **OFF** にします。

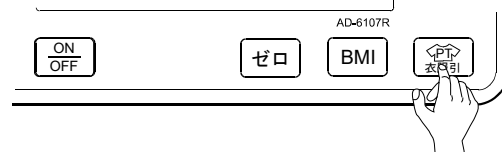
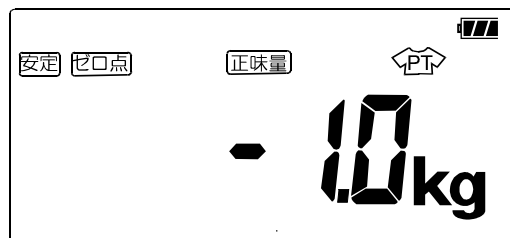
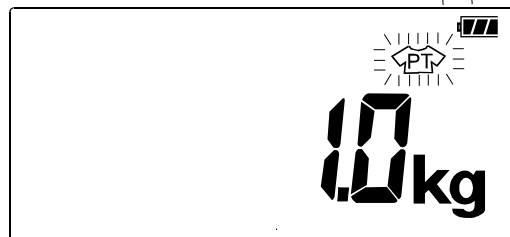
9.2. 衣服の重さを引いてはかる（プリセット風袋引き測定）

9.2.1. 衣服の重さとして 1.0kg 引くとき

プリセット風袋機能を使用することで、衣服の重さをあらかじめ引くことができます。
プリセット風袋の範囲は 90.0kg までです。

手順：

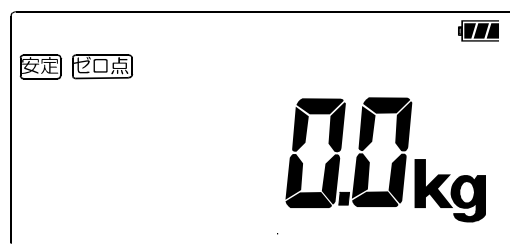
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
「7.2.電源の準備」参照
2. **ON/OFF** スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、「0.0kg」表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. **衣服引** スイッチを押すと初期の衣服引き量“1.0kg”が表示され、「衣服」マークが点滅します。
5. スイッチを押してしばらくすると衣服引き量が決定します。「正味量」マークが点灯し、衣服引き量が引かれた測定ができます。
6. 通常の測定に戻すには、計量台に何ものせないで、**ゼロ** スイッチ、または**衣服引** スイッチを押します。



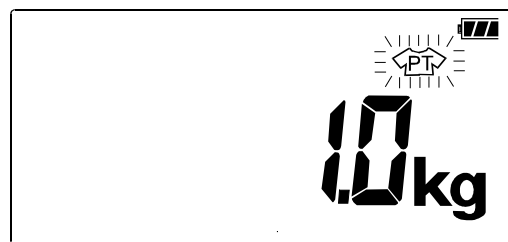
9.2.2. 衣服の重さを変更するとき

手順：

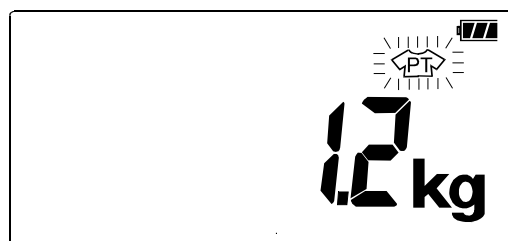
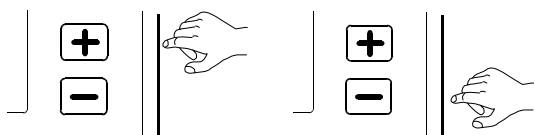
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。「7.2.電源の準備」参照。
2. **ON/OFF**スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、「0.0kg」表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。



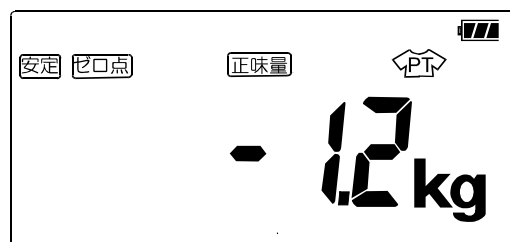
4. **衣服引**スイッチを押すと初期の衣服引き量“1.0kg”が表示され、「衣服」マークが点滅します。



5. **+**スイッチ、**-**スイッチを押すと、衣服引き量が 0.1kg 単位で変更されます。変更中は「衣服」マークが点滅し続けます。



6. 変更後、しばらくすると衣服引き量が決定します。正味量マークが点灯し、変更された衣服引き量が引かれた測定ができます。決定時に安定してない場合、“- - - - -”を表示するときがあります。安定すれば数値が表示されます。



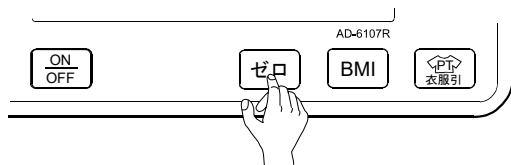
7. 通常の測定にもどすには、計量台に何ものせないで、**ゼロ**スイッチ、**衣服引**スイッチを押します。

9.3. 風袋引き測定

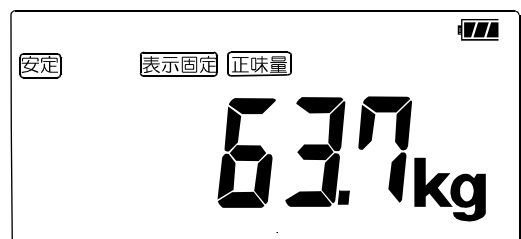
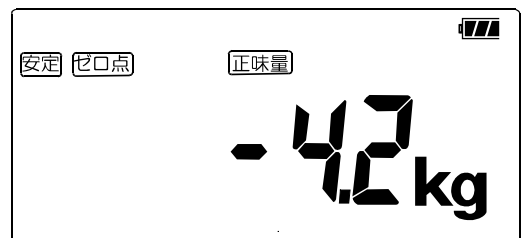
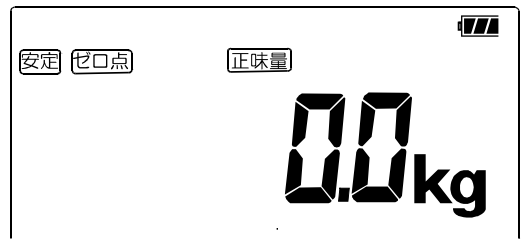
風袋引き機能を使用することで、衣服等の実際の重さを測定した結果から引くことができます。
風袋の範囲は90.0kgまでです。

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
「7.2.電源の準備」参照。
2. **ON/OFF**スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. 測定した結果から重さを引きたいもの（例えば衣服）を静かに計量台にのせ、「ゼロ」スイッチを押します。

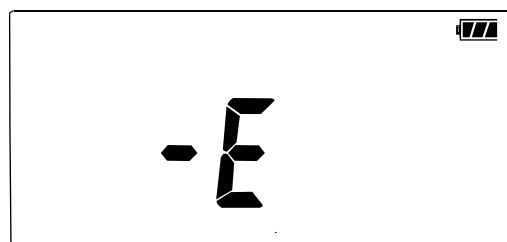
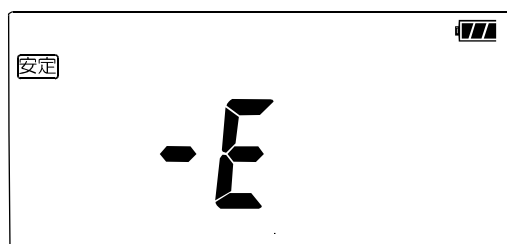


5. 約 4.0kg 以下の場合 “- - - - -” 点滅表示後、“0.0kg” 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
約 4.0kg を超える場合は “- - - - -” 点滅表示後、“0.0kg” 表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークと「正味量」マークが点灯します。
6. 計量台にのせているものを降ろします。引きたいものの量がマイナス表示されます。
7. 計量台にのると衣服などを引いた体重値が表示されます。



ゼロスイッチ使用時のご注意

- 計量台に載せた質量が 2.0kg～4.0kg (例えば 2.0kg) のときゼロスイッチを押すと表示は “0.0kg” になりますが、その後ものを取り除くと、“-2.0kg” と表示せずにエラーが表示されます。
- 「安定」の表示が点灯している場合は、ゼロスイッチを押して表示を “0.0kg” にします。
- 「安定」の表示が点灯していない場合は、一度電源を入れなおしてください。



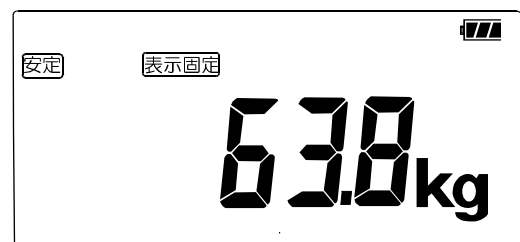
9.4. BMI を計算する

本器は体重を測定し、身長値を入力することでBMIを計算することができます。
身長値の入力範囲：60.0cm～220.0cm

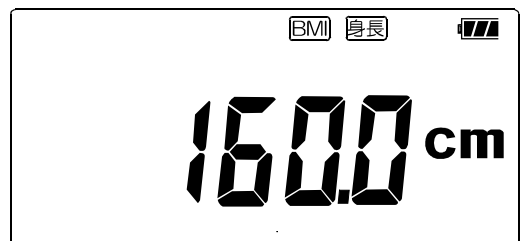
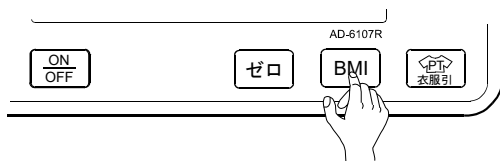
9.4.1. 体重を先に測定する

手順：

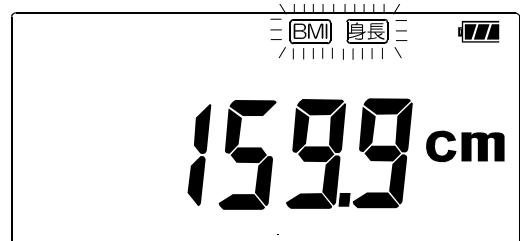
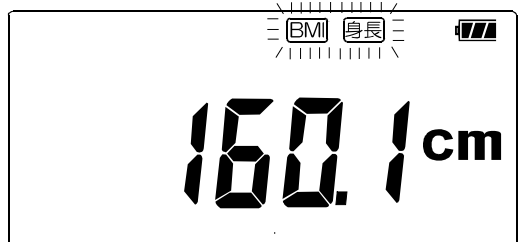
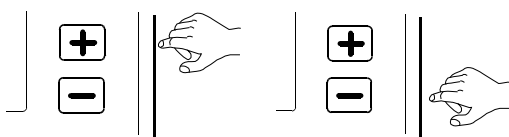
1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
「7.2.電源の準備」参照。
2. **ON/OFF**スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、「0.0kg」表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. 計量台に静かに乗ります。
5. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。



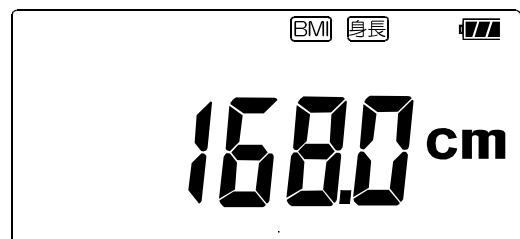
6. BMI スイッチを押すと身長値が表示されます。



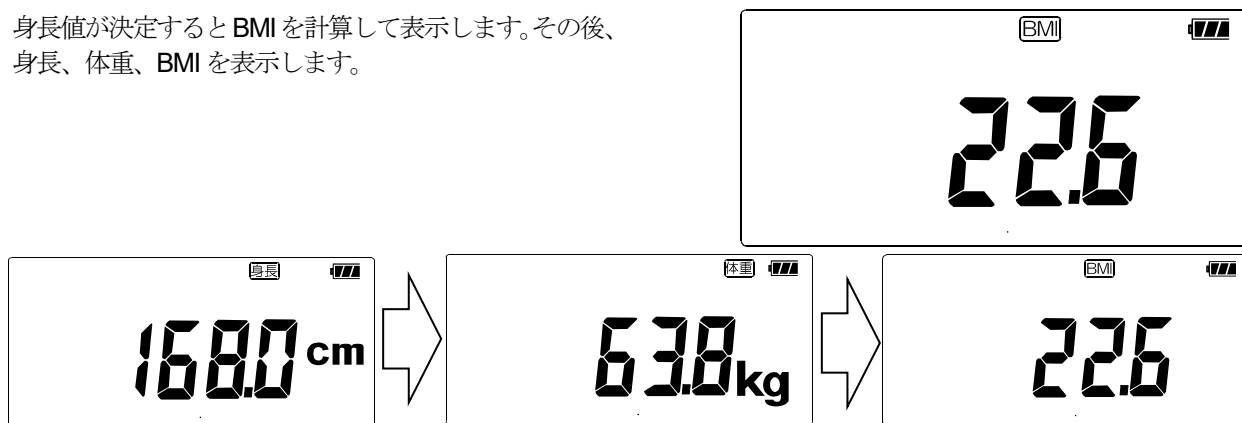
7. **+**スイッチ、**-**スイッチを押すと、身長値が0.1cm単位で変更されます。



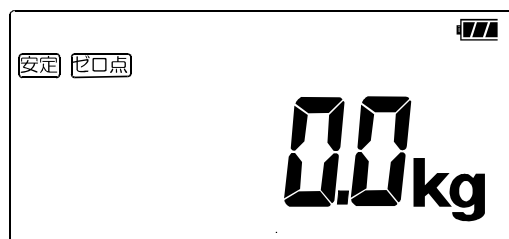
8. 身長値を入力後、しばらくすると身長値を決定します。



9. 身長値が決定するとBMIを計算して表示します。その後、身長、体重、BMIを表示します。



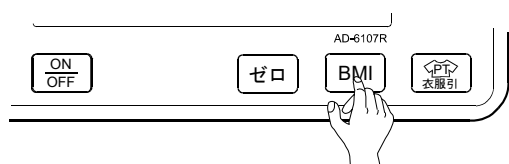
10. 計量台からおけると測定状態に戻ります。



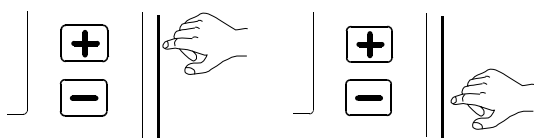
9.4.2. 身長値を先に入力する

手順：

1. 測定を開始する前に電源の確認をしてください。
「7.2.電源の準備」参照。
2. **ON/OFF**スイッチを押して測定状態にします。
3. 全点灯表示後、“0.0kg”表示となり、「安定」マークと「ゼロ点」マークが点灯します。
4. **BMI** スイッチを押すと身長値が表示されます。



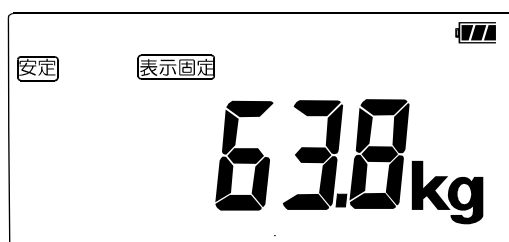
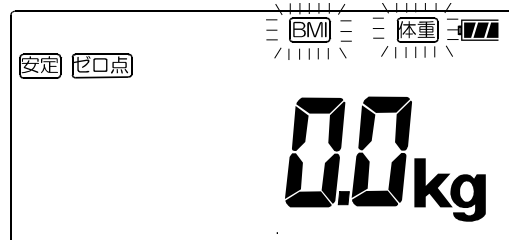
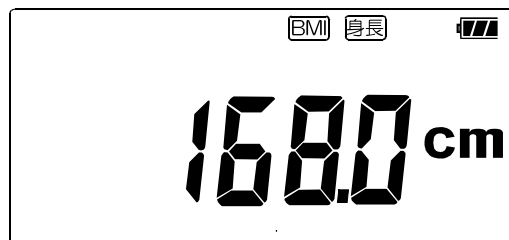
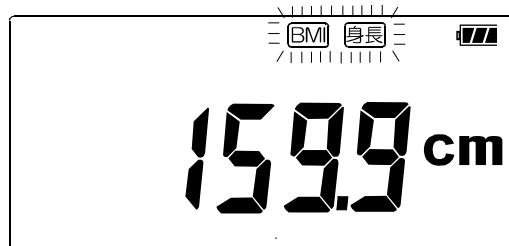
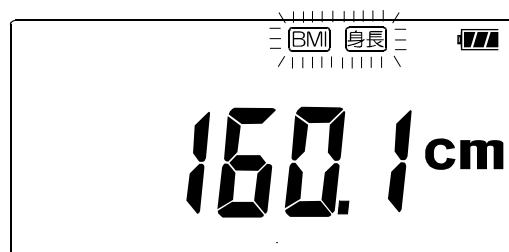
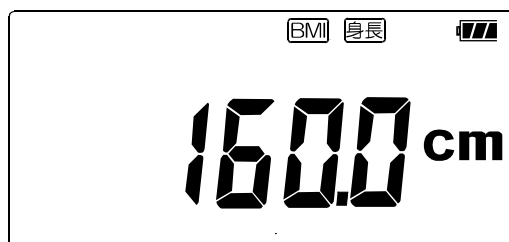
5. **+**スイッチ、**-**スイッチを押すと、身長値が0.1cm単位で変更されます。



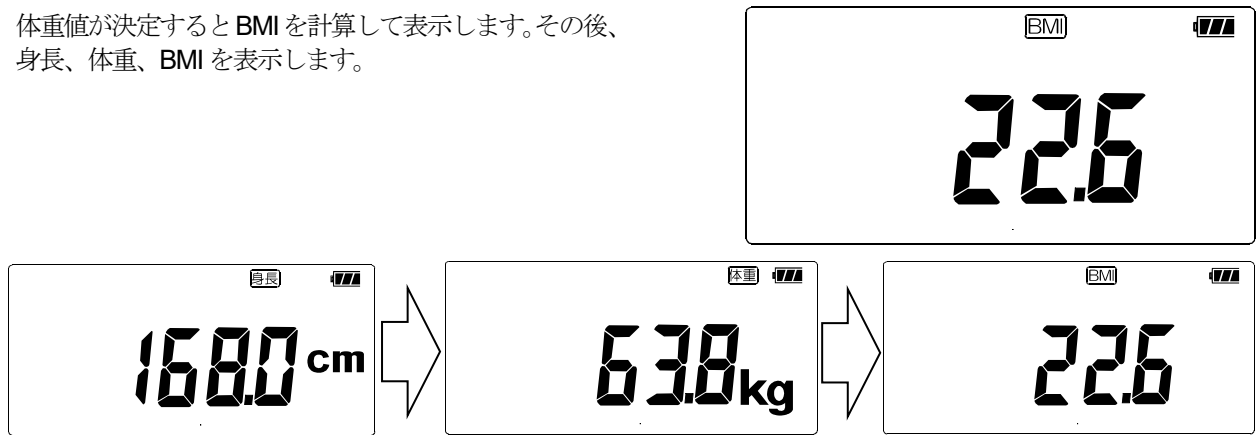
6. 身長値を入力後、しばらくすると身長値を決定します。

7. 測定状態になりますので、計量台に静かに乗ります。

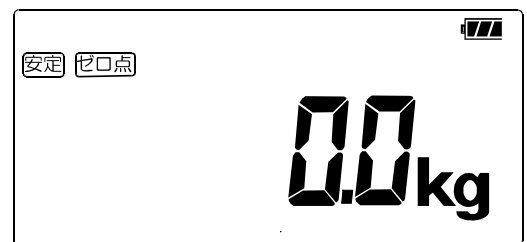
8. 体重が安定すると、「安定」マークと「表示固定」マークが点灯し、体重値が表示固定されます。



9. 体重値が決定するとBMIを計算して表示します。その後、身長、体重、BMIを表示します。



10. 計量台から降りると測定状態に戻ります。



9.5. ファンクション設定

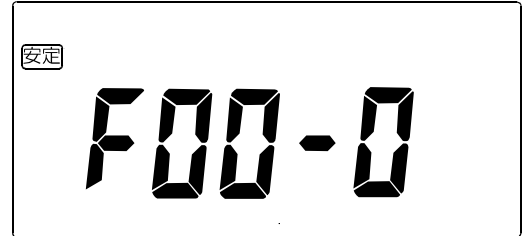
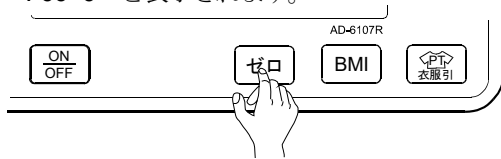
ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

9.5.1. ファンクション設定方法

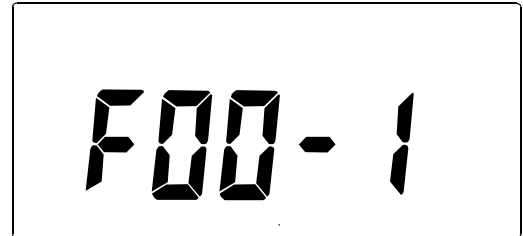
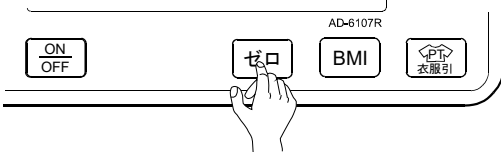
手順：

1. 電源 OFF の状態にします。

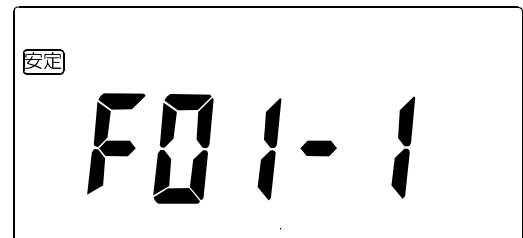
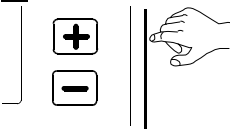
2. **ゼロ**スイッチを押した状態で、**ON/OFF**スイッチを押します。
“F00-0”と表示されます。



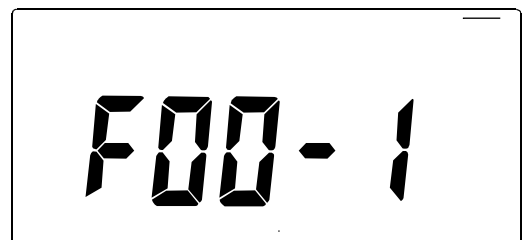
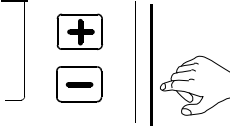
3. **ゼロ**スイッチを押すと設定が変更され、“F00-0” → “F00-1”と変わります。



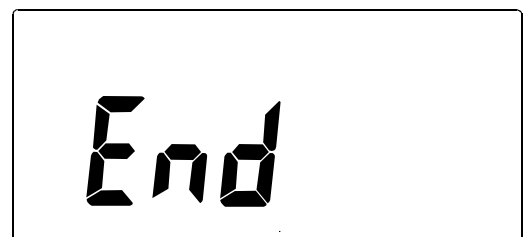
4. **+**スイッチを押すと次の項目に進みます。



5. **-**スイッチを押すと前の項目に戻ります。



6. 上記の項目の設定が終わったら、**ON/OFF**スイッチを押します。“End”表示となり、設定が記憶されます。



9.5.2. ファンクション一覧

- **F00**は、すべての項目を初期設定にします。
- F07**は、**F08** ~ **F11** の項目を初期設定に変更します。
- F17**は、**F18** ~ **F21** の項目を初期設定に変更します。
- F00**、**F07**、**F17** に有効 (1) を設定した場合、次回設定時は、初期設定の無効 (0) に戻ります。
- ◆ は、初期設定を表します。現在記憶している設定には「安定」マーク ○ が点灯します。

項目	内容	設定値	設定内容
F00	イニシャル	◆ 0	無効
		1	有効 すべての項目を初期設定に変更します。
F01	オートパワーオフ	0	無し
		◆ 1	5分
		2	10分
		3	15分
		4	30分
F02	表示固定	0	無し
		1	有り 約7秒後に解除
		◆ 2	有り ±3kg 変動で解除
		3	有り ±3kg 変動の約7秒後に解除
F03	ブザー音	0	無し
		◆ 1	有り
F04	通信電源出力設定	◆ 0	無効
		1	拡張端子
F05	拡張端子チャンネル1 出力タイミング	0	オート出力A
		1	オート出力B
		2	オート出力C
		◆ 3	オート出力D
		4	ストリーム
		5	出力なし
F06	拡張端子チャンネル1 通信フォーマット	0	DP フォーマット
		◆ 1	標準プリンタフォーマット
		2	HD フォーマット
F07	拡張端子チャンネル1 通信初期化	◆ 0	無効
		1	有効
F08	拡張端子チャンネル1 ボーレート	◆ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
F09	拡張端子チャンネル1 パリティ	◆ 0	偶数 (EVEN)
		1	奇数 (ODD)
		2	無し (NONE)
F10	拡張端子チャンネル1 終端	◆ 0	CRLF
		1	CR
		2	LF

項目	内容	設定値	設定内容
F11	拡張端子チャンネル1 データ長	◆ 0	7 bit
		1	8 bit
F15	拡張端子チャンネル2 出力タイミング	0	オート出力A
		1	オート出力B
		2	オート出力C
		◆ 3	オート出力D
		4	ストリーム
		5	出力なし
F16	拡張端子チャンネル2 通信フォーマット	0	DP フォーマット
		◆ 1	標準プリンタフォーマット
		2	HD フォーマット
F17	拡張端子チャンネル2 通信初期化	◆ 0	無効
		1	有効
F18	拡張端子チャンネル2 ボーレート	◆ 0	2400 bps
		1	4800bps
		2	9600 bps
F19	拡張端子チャンネル2 パリティ	◆ 0	偶数 (EVEN)
		1	奇数 (ODD)
		2	無し (NONE)
F20	拡張端子チャンネル2 終端	◆ 0	CRLF
		1	CR
		2	LF
F21	拡張端子チャンネル2 データ長	◆ 0	7 bit
		1	8 bit
F30	拡張端子 入力チャンネル設定	◆ 0	チャンネル1のみ
		1	チャンネル2のみ
F31	拡張端子 出力チャンネル設定	0	チャンネル1のみ
		1	チャンネル2のみ
		◆ 2	チャンネル1及びチャンネル2
F32	電源投入時自動出力	0	有り 電源投入時 AND ON 停止時 AND OFF
		◆ 1	無し

※F32 は対応していない場合がございます。その場合お問い合わせください。

10. 通信機能 (RS-232C インターフェース)

10.1. 標準 RS-232C インターフェース

- 本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信タイミングの設定により、オート出力モード、ストリームモードが設定できます。
通信条件 (ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット) を通信する機器と合わせてください。
通信タイミングと通信条件の設定は「9.5. ファンクション設定」を参照してください。

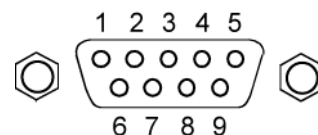
インターフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式 (全二重方式)	
通信形式	通信速度	2400、4800、9600 bps 選択可
	データビット長	7 ビット、8 ビット 選択可
	パリティ	無し(NONE)、偶数(EVEN)、奇数(ODD) 選択可
	ストップビット	1 ビット
	使用コード	ASCII

ピン接続

コネクタ : D-sub9 ピン (オス)

ピン番号	信号	方向 ※	備考
1	CD	N.C.	
2	RXD	入力	チャンネル 1
3	TXD	出力	
4	TXD	出力	チャンネル 2
5	SG	-	
6	RXD	入力	チャンネル 2
7	TRS	出力	7 ピンと 8 ピンは内部で接続されています。
8	CTS	入力	
9	RI	出力	電源出力



- ※ 本器からみた通信方法です。
- 通信ケーブルは接続する周辺機器に合わせて用意しております。「12. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。本製品は、2チャンネルの入出力を有していますが、コネクタは1つになります、対応するピンはファンクションで設定してください。標準は、**F30-0**、**F31-2** になります。

入力チャンネル設定

ファンクション	チャンネル 1 (RXD 2pin)	チャンネル 2 (RXD 4pin)
◆ F30-0	○	×
F30-1	×	○

出力チャンネル設定

ファンクション	チャンネル 1 (TXD 3pin)	チャンネル 2 (TXD 6pin)
F31-0	○	×
F31-1	×	○
◆ F31-2	○	○

- ◆ は、初期設定を表します。

出力タイミング

出力タイミングは以下の3つがあります。通信の出力内容は、**F05**及び**F15**の選択によって決定されます。

- 出力なし 出力しません。
- ストリームモード 表示している値を常時出力します。出力されるデータは約4回/秒です。
風袋データ、IDデータ、時計データは出力しません。
- オート出力モード 値が安定するとデータが1回だけ表示している値が出力されます。
風袋またはプリセット風袋が設定されている場合は同時に出力されます。
IDデータが入力されている場合は一度だけIDデータが同時に出力されます。

項目	出力データ内容
オート出力モードA	測定データ
オート出力モードB	測定データ、IDデータ
オート出力モードC	測定データ、時計データ
オート出力モードD	測定データ、時計データ、IDデータ

入力

出力タイミングがオート出力モードのとき、「10.2. データフォーマット」に記載されているフォーマットでの入力が可能です。

10.2. データフォーマット

10.2.1. 出力データフォーマット

表記記号

- CR は、キャリッジリターン(0x0D)を表しています。 CR LF は、終端記号です。設定による変更ができません。
- LF は、ラインフィード(0x0A)を表しています。 は、スペース文字(0x20)を表しています。

DPフォーマット

ファンクション設定で、「DP フォーマット」を指定した場合のフォーマット。

「拡張端子チャンネル1通信フォーマット」-「DP フォーマット」

F06 0

 及び、
「拡張端子チャンネル2通信フォーマット」-「DP フォーマット」

F16 0

極性は、+または、- です。

数字の桁数は、データの最上位の桁までで、可変します。 数字の最上位桁の左隣に極性が付きます。

極性と数字の部分について、極性の左側はスペース文字(0x20)に置き換わります。

□ 体重安定 (総量) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
W	T					極性	数字	数字	数字	数字	.	数字		k	g	CR	LF

例 体重 70.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
W	T							+	7	0	.	1		k	g	CR	LF

□ 体重安定 (正味量) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
N						極性	数字	数字	数字	数字	.	数字		k	g	CR	LF

例 体重 64.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
N								+	6	4	.	5		k	g	CR	LF

□ 体重オーバー (総量 プラス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
								E								CR	LF

□ マイナス計量 (総量 マイナス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
								-	E							CR	LF

□ 風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T						極性	数字	数字	数字	数字	.	数字		k	g	CR	LF

例 風袋 5.6 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
T								+	5	.	6		k	g	CR	LF	

□ プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
P	T					極性	数字	数字	数字	数字	.	数字		k	g	CR	LF

例 プリセット風袋 10.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
P	T							+	1	0	.	1		k	g	CR	LF

標準プリンタフォーマット

ファンクション設定で、「標準プリンタフォーマット」を指定した場合のフォーマット。

「拡張端子チャンネル1通信フォーマット」-「標準プリンタフォーマット」 F06 ! 及び、
「拡張端子チャンネル2通信フォーマット」-「標準プリンタフォーマット」 F16 !

極性は、+または、- です。

□ 体重安定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 体重 5.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	0	5	.	1	┌	k	g	CR	LF

例 体重 50.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	5	0	.	5	┌	k	g	CR	LF

例 体重 100.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	1	0	0	.	5	┌	k	g	CR	LF

□ 体重非安定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U	S	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

□ 体重オーバー (総量 プラス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	+	9	9	9	9	9	9	.	9	┌	k	g	CR	LF

□ マイナス計量 (総量 マイナス・オーバー) の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	-	9	9	9	9	9	9	.	9	┌	k	g	CR	LF

□ 風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 1.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	0	1	.	1	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 20.4 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	2	0	.	4	┌	k	g	CR	LF

□ プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 プリセット風袋 10.1 kg のデータ例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
P	T	,	+	0	0	1	0	.	1	┌	k	g	CR	LF

HD フォーマット

ファンクション設定で、「HD フォーマット」を指定した場合のフォーマット。

「拡張端子チャンネル1通信フォーマット」-「HD フォーマット」

F062

 及び、

「拡張端子チャンネル2通信フォーマット」-「HD フォーマット」

F162

極性は、+または、- です。

□ 体重安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	┌	k	g	CR	LF

例 体重 5.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	0	5	.	1	┌	┌	k	g	CR	LF

例 体重 50.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	0	5	0	.	5	┌	┌	k	g	CR	LF

例 体重 100.5 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
S	T	,	+	0	0	1	0	0	.	5	┌	┌	k	g	CR	LF

□ 体重安定（正味量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
N	┌	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	┌	k	g	CR	LF

□ 体重非安定（総量）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
U	S	,	極性	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	┌	k	g	CR	LF

□ 体重オーバー（総量 プラス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	+	9	9	9	9	9	.	9	┌	┌	k	g	CR	LF

□ マイナス計量（総量 マイナス・オーバー）の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
O	L	,	-	9	9	9	9	9	.	9	┌	┌	k	g	CR	LF

□ 風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 1.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	0	1	.	1	┌	k	g	CR	LF

例 風袋 20.4 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
T	R	,	+	0	0	0	0	2	0	.	4	┌	k	g	CR	LF

□ プリセット風袋 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
P	T	,	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	k	g	CR	LF

例 プリセット風袋 10.1 kg の例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
P	T	,	+	0	0	0	0	1	0	.	1	┌	k	g	CR	LF

BMI 測定

- 身長 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
H	T	,	+	数字	数字	数字	数字	.	数字	┌	c	m	CR	LF

- BMI の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B	M	,	+	数字	数字	数字	.	数字	CR	LF

ID データ (共通)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
I	D	,	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	CR	LF

時計データ (共通)

年は、西暦で 2017 ~ 2099 の範囲が選択できます。

時間は 24 時間表記です。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
T	M	,	2	0	年	年	/	月	月	/	日	日	,	時	時	:	分	分	:	秒	秒	CR	LF

10.2.2. 入力データフォーマット

コマンド

- プリセット風袋設定 の書式

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P	T	+	数字	数字	数字	数字	数字	数字	CR	LF

- ゼロ動作 の書式

0	1	2
Z	CR	LF

- ID 出力 の書式

0	1	2	3	4
?	I	D	CR	LF

- 時刻出力 の書式

0	1	2	3	4
?	T	M	CR	LF

コマンド

ID データは、英数字のみ、16 桁固定です。

ID 番号が 16 桁のときは、そのまま ID 番号として登録します。

ID 番号が 17 桁以上のときは、下位 16 桁を ID 番号として登録します。

ID 番号が 15 桁以下のときは、不足分を上位桁にスペースを追加して ID 番号として登録します。

□ ID データ A

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
I	D	,	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	CR	LF

□ ID データ B

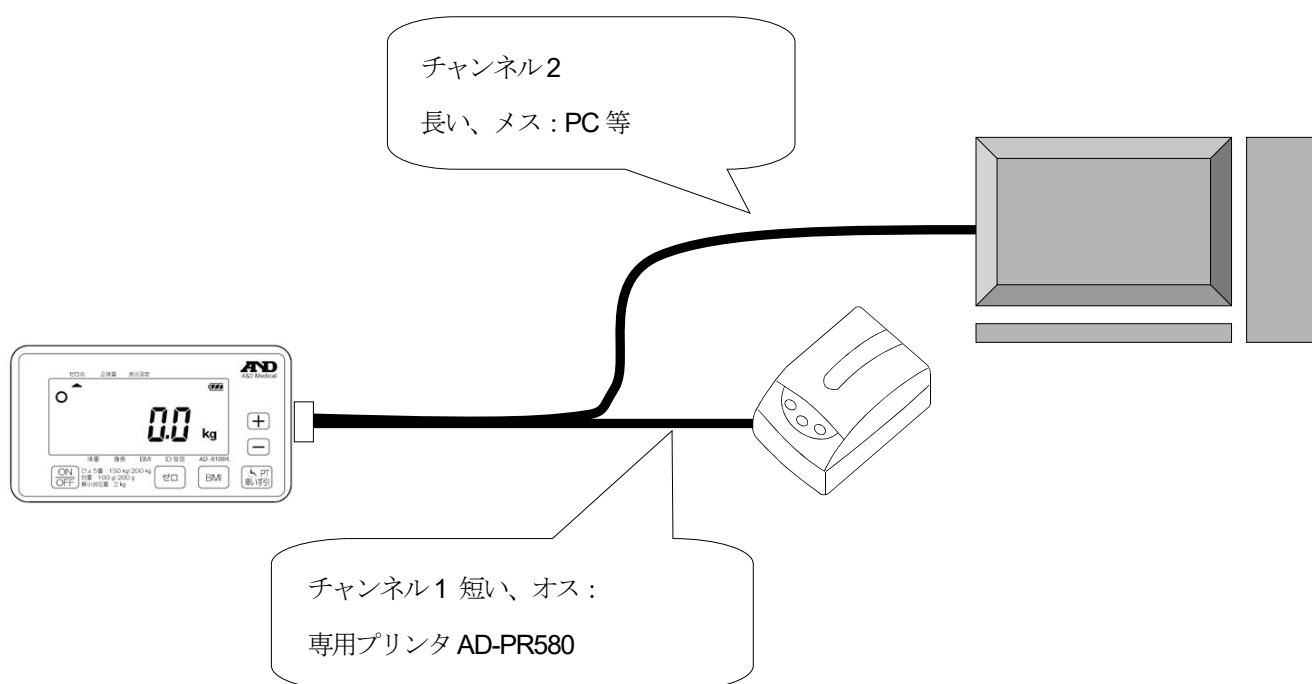
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	CR	LF

10.2.3. 2又通信ケーブル AX-KO6653 の接続

オプションの専用通信ケーブル AX-KO6653 をお使いの場合以下のように接続すると、PC などの機器と当社専用プリンタと同時に通信できます。

ファンクションは以下の設定にして、チャンネル2を（PC など）を入力にしてください。

ファンクション	チャンネル1 プリンタ	チャンネル2 PC など
F30 ~ 1	入力 ×	入力 ○
F31 ~ 2	出力 ○	出力 ○



また、通信に関する設定はそれぞれのチャンネルごとに行えます。

チャンネル	ファンクション項目
チャンネル1	F05 ~ F11
チャンネル2	F05 ~ F21

11. 保守

11.1. 保守点検と安全管理



本器などの機器は必要時にその有する機能が十分に発揮され、しかも被測定者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。

本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。

当社では、1年に1回以上の定期点検をお勧め致します。

11.2. 清掃

注意

	<ul style="list-style-type: none">■ 清掃を行う際は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対に行わないでください。■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヵ月に1回程度、以下のように行ってください。

- 機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 清掃するときは、水に薄めた中性洗剤または、消毒用アルコールを使用してください。
- 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

11.3. 定期点検

本器を正しくお使いいただくために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。定期点検については、当社にお問い合わせください。

11.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い、問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ 変形や破損はないか■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか■ パネル類に割れやガタつき等はないか■ 結露や水濡れはしていないか
計量台	<ul style="list-style-type: none">■ 計量台、手すりのガタつき、固定異常はないか■ 足コマは4箇所付いているか、ガタつき、破損等はないか■ 計量台は、水平で安定した場所に設置されているか（水平器で確認）
接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none">■ 電源ケーブルの上に重いもの、本体等がのっていないか■ 電源ケーブル・プラグは傷んでいないか■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか

11.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い、問題がないことを確認してください。

項目	内容
外観	<ul style="list-style-type: none">■ けむりが出たり、変なニオイがしたり、していないか■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	<ul style="list-style-type: none">■ 実測し、体重値及び測定動作に異常はないか
データ処理 (他 PC 等への接続の場合)	<ul style="list-style-type: none">■ 正常に通信可能か■ データに異常はないか
スイッチ・ボタン	<ul style="list-style-type: none">■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示部	<ul style="list-style-type: none">■ 文字欠け等表示異常はないか

機器に異常がある場合は、点検にお出してください。
点検は、最寄りの当社営業所にお申し付けください。

11.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄、アルミニウム
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	乾電池	単1形アルカリ乾電池

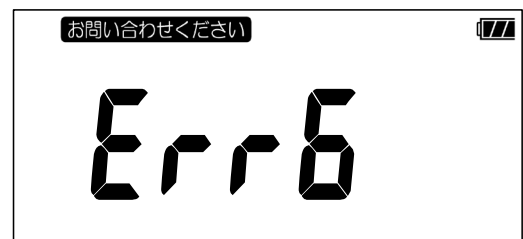
11.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。

これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、当社ME機器相談センターにお問い合わせください。

現象	確認内容
ON/OFFスイッチを押しても、何も表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACアダプタは正しく接続されていますか？ ■ 乾電池が正しく入っていますか？ ■ 乾電池が消耗していませんか？ ■ 接続ケーブルは正しく接続されていますか？
“ - - - - - ”を表示したまま変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源をいれるとき、計量台の上に何か載っていませんか？ 約 20 kg 以上のものを載せて電源をいれる则表示されます。載っているものを降ろしてください。
正しくはかれない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計量台の下にもものが入り込んでいませんか？ ■ 計量台に壁やコードなどが接触していませんか？ ■ 水平に設置されていますか？
測定範囲外と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計量台に 201.6 kg を超えたものがのっているか、電源投入時に計量台の載っているものを下したとき表示されます。

右図のように“Err 番号”がでるときは、故障の可能性がありま。表示される番号とともに当社ME機器相談センターにお問い合わせください。



右図の表示が出ているときは、乾電池が消耗しています。電池交換をしてください。



注意



- 本器の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。

12. アクセサリ・オプションユニット

品名	型名
専用ACアダプタ (プリンタ用)	AS-BLS-120W
AS-BLS-120W用ACコード	AS-ACS-120A
プリンタ	AD-PR580
プリンタ用紙	AX-PP147-S
プリンタオプション	AD-PR580-007

13. 重力加速度の大きさの範囲

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。

2箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。

たとえば、愛知県の場合「9.800 ~ 9.796 m/s²」または「9.798 ~ 9.794 m/s²」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.803 ~ 9.807 m/s ²	1	北海道
9.799 ~ 9.804 m/s ²	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
9.796 ~ 9.801 m/s ²	3	福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、
9.794 ~ 9.799 m/s ²	4	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（全域）、神奈川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.789 ~ 9.794 m/s ²	5	鹿児島県（薩摩地方を除く）、沖縄県

14. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保障は日本国内のみ有効といたします。

14.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保障期間は下記のとおりです。

- 本体……………ご購入より 12 ヶ月

14.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・破損。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・破損。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・破損。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・破損。
- 本体以外の付属品、消耗品の破損、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・破損。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・破損。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・破損。

14.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。

メディカル機器に関するご質問・ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

ME 機器相談センター

電話 **0120-707-188** 通話料無料

受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがあります
のでご了承ください。

修理品の発送先 〒507-0054 岐阜県 多治見市 宝町9-19
株式会社エー・アンド・デイ FE部
業務用体重計、業務用身長計 TEL. 0572-21-6644

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

※ 電話のかけまちがいにご注意ください。
番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いします。